

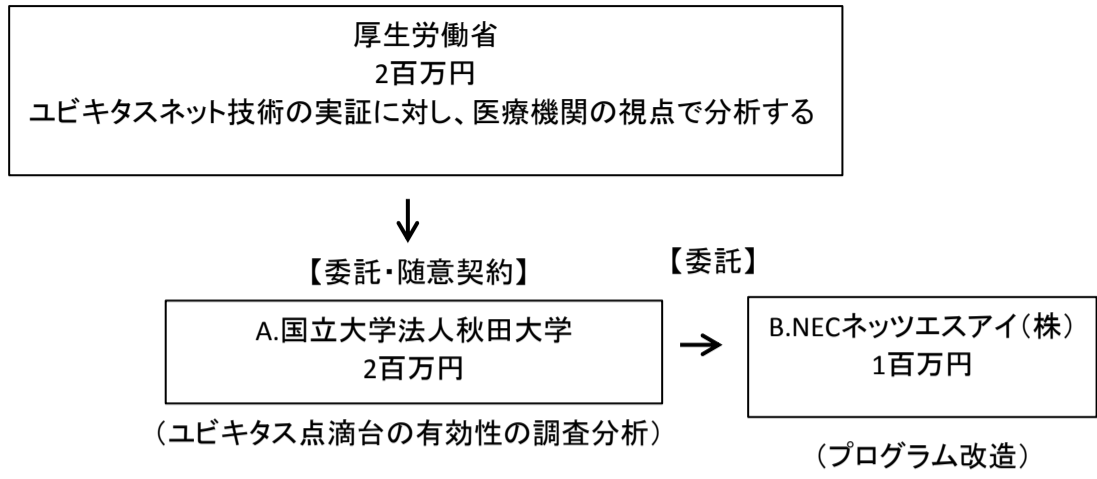
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

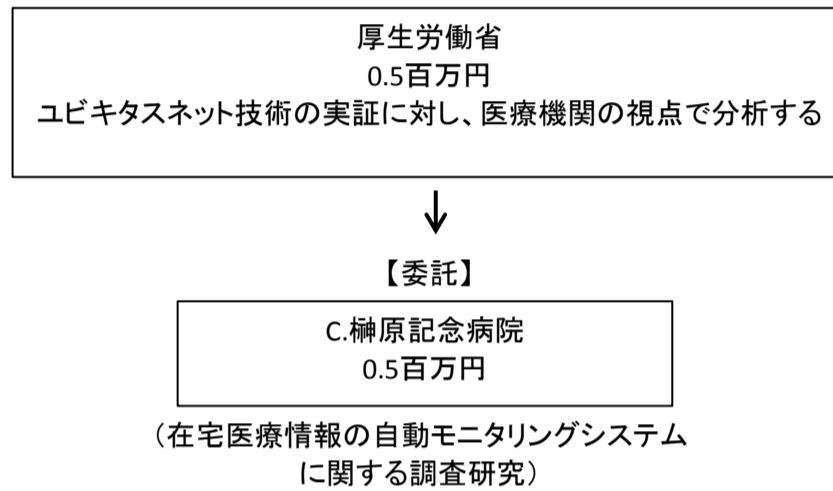
事業名	健康情報活用基盤実証事業等経費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	①平成20~22年度 ②平成21~23年度、③平成22年度		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：石井安彦	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略~三カ年緊急プラン~ 平成21年7月:i-japan戦略2015			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①健康情報活用基盤実証事業 電子化される健康情報の高度利活用を図るため、医療・健診等の情報共有のための方策等の実証。 ②ユビキタス健康医療技術推進事業 医療の安全性向上等に関する効果及び課題を検証し、医療現場での有効性を調査。 ③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業 医療機関間等において安全を確保し円滑な電子的診療情報を送受信する仕組み(HPKI)の普及・定着を促進するためのモデル事業を実施。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	171	189	13		
		補正予算					
		繰越し等		▲6	6		
		計	171	183	19		
	執行額	163	172	6			
執行率(%)	95.3%	94.0%	31.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	電子化される健康情報の利活用により、医療の安全性の向上や、医療従事者の業務軽減を図るものである。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実績報告書の作成		活動実績(当初見込み)	-	2	1	-
					(2)	(1)	()
単位当たりコスト	6百万円/事業実績報告書(ユビキタス健康医療技術推進事業)		算出根拠	平成23年度のユビキタス健康医療技術推進事業の執行額:6百万円			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの事業ともに、ニーズや優先度は高い事業である。 ・標準化したものの普及を目指す上では、引き続き、国が主導して実施。 ・必要に応じて理由を把握している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画競争入札を行い、事業者を選定しており、競争性は確保している。 ・企画書審査委員会等において、コストについても削減に努めた。 ・負担の在り方については毎年見直しを行っており妥当である。 ・事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っている。 ・必要最低限の経費のみの予算計上としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果実績や活動実績から見て他の手段と比較しても実効性の高い手段である。 ・実施要綱に基づいた成果目標を立て、その達成度の向上に努めている。 ・成果実績や活動実績から見て他の手段と比較しても実効性が高い手段である。 ・事業実績報告書において成果の報告を受け、実績把握に努めている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>点検の結果、特に改善を要する事項は見つからなかったが、いずれにせよ、平成23年度末時点において事業は全て終了している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①健康情報活用基盤実証事業、③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業については平成22年度に終了 ・②ユビキタス健康医療技術推進事業については平成23年度に終了 		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	105	平成23年行政事業レビュー	0086

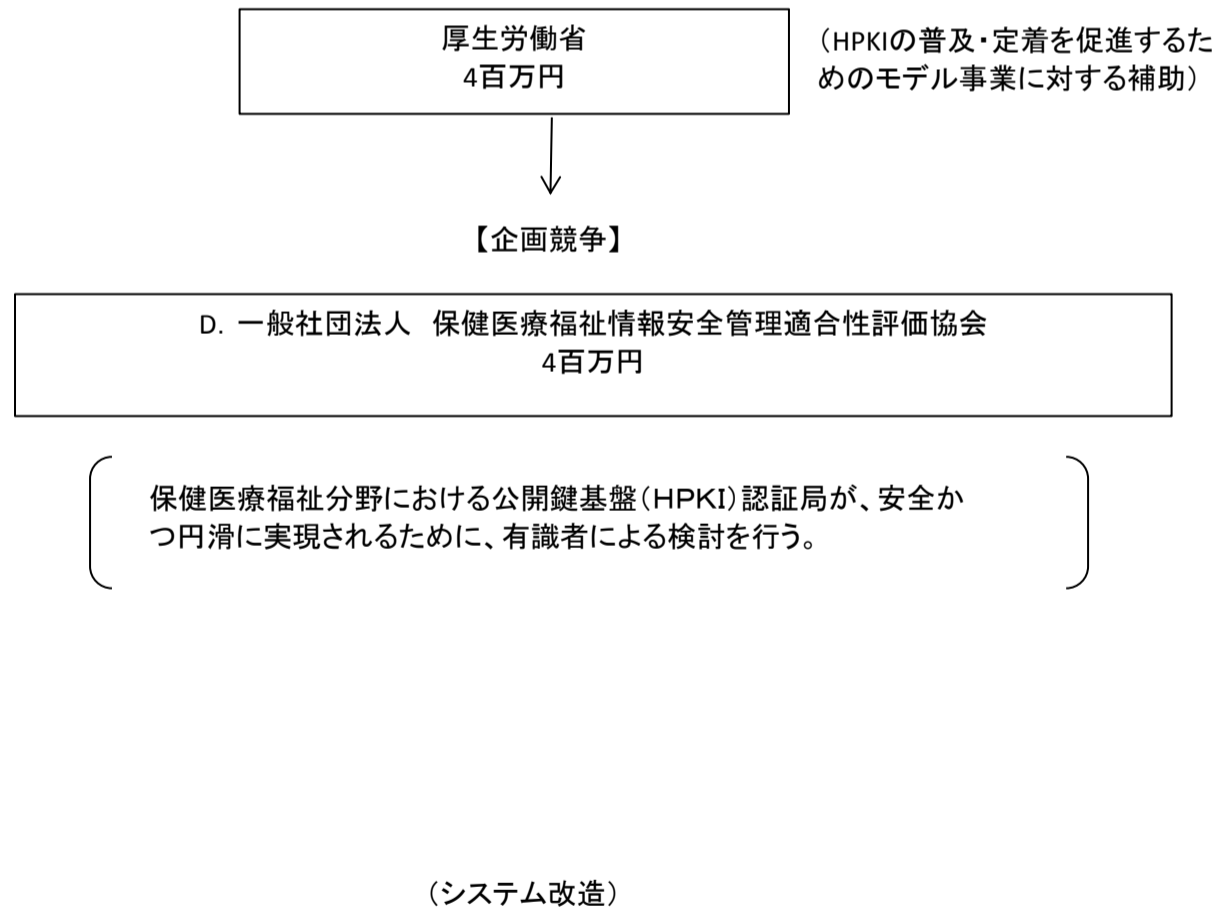
①-1 ユビキタス健康医療技術推進事業(22年度繰越)



①-2 ユビキタス健康医療技術推進事業(23年度)



②保健医療福祉分野における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業(22年度繰越)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.国立大学法人秋田大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	消耗品費、旅費、印刷製本費等	1			
委託費	人件費	1			
計		2	計		0
B.NECネットエスアイ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	システム改造作業	1			
計		1	計		0
C.榊原記念病院			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	検討会謝金	0.3			
その他	消耗品費、旅費等	0			
計		0.5	計		0
D.一般社団法人 保健医療福祉情報安全管理適合性評価協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	検討会謝金	1			
その他	消耗品費、旅費、印刷製本費等	3			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人秋田大学	システム導入にかかる検証	2	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECネットエスアイ(株)	プログラム改造	1		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	榊原記念病院		0.5		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人 保健医療	検討会事務局等	4	随意契約	

【事業概要】

健康情報活用基盤実証事業等経費

<p>事業概要</p>	<p>①健康情報活用基盤実証事業 個人が、電子化される健康情報(医療・健診等データ)を活用できる基盤を整備し、沖縄県浦添市において実証を行った。</p> <p>②ユビキタス健康医療技術推進事業 医療の安全性向上や医療従事者の業務負担に資するよう、電子タグ等のユビキタスネット技術を活用したモデル事業を総務省において実施し、総務省において選定された事業を導入した場合の、医療機関や医療従事者の視点で有効性等について分析を行った。</p> <p>③医療における公開鍵基盤(HPKI)利用促進検討事業 医療機関間等において安全を確保しつつ円滑な電子的診療情報を送受信するため、その内容が改ざんされていないか、本人に間違いがないかなどを担保できる仕組み(HPKI)の整備を行っているところであり、そのHPKIの普及・定着を促進するためのモデル事業を実施した。</p>
-------------	---